

指宿地域における実エンドウ「まめこぞう」の播種期と枝数，仕立て法

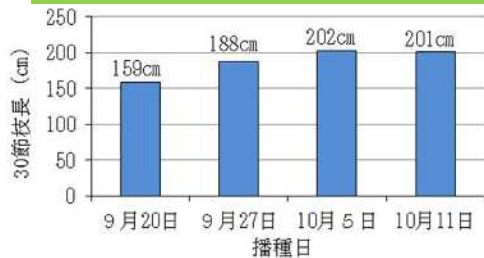
播種時期は9月下旬が適し，1m当たり枝数は10～13.3本，仕立て法は主枝1本仕立てがよい

背景・目的

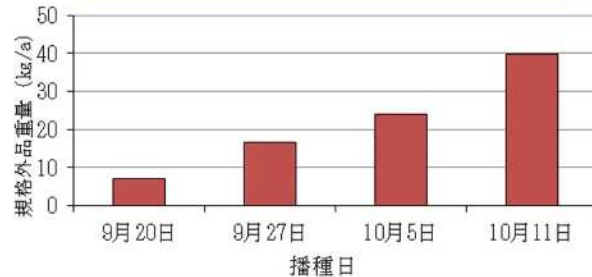
- ・平成25年に育成した，おいしくて収量の多い実エンドウ品種「まめこぞう」は，主に指宿地域と出水地域で普及が進んでいる
- ・指宿地域では枝の伸びが早く，高所作業等で栽培管理に労力を要することが問題になっている
- ・枝が伸びにくく，収量性の高い播種時期と1m当たり枝数，仕立て法を明らかにする

成果の内容

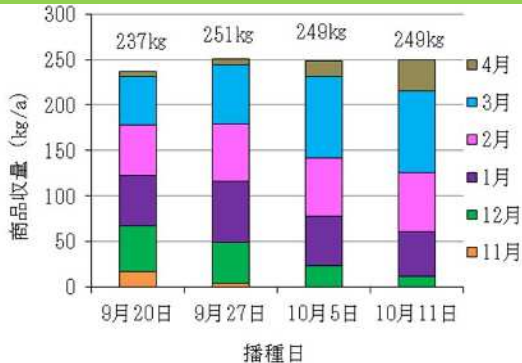
9月播種は10月播種より枝が短い



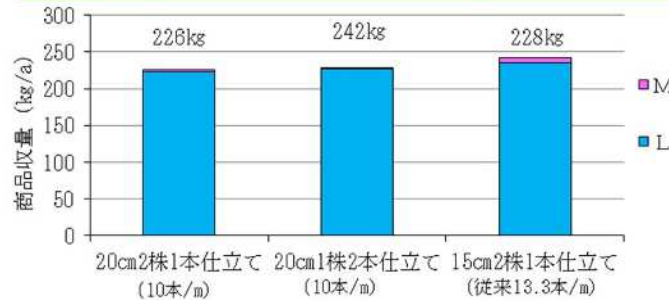
10月播種は規格外品が多い



9月播種は月ごとの収量の増減が少ない



枝数10～13.3本，本数1～2本に収量の差はない
(10～13.3本で，栽培が簡単な1本仕立てがよい)



導入メリット



・枝の伸びが遅いため，栽培管理がしやすい

・収穫作業が集中しない！

・商品化率が高まる！

・枝数が従来より少なくても，収量は同じ

期待される効果

良食味の実エンドウ「まめこぞう」の栽培面積増加によるブランド力の向上

普及対象・範囲

指宿地域
(年平均気温17℃程度の地帯)

鹿児島県農業開発総合センター園芸作物部野菜研究室